

江の川カヌー公園さくぎ改修工事設計図

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録(24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 表紙		工事名 江の川カヌー公園さくぎ改修工事 設 計 図						
				縮尺		製作日		1級建築士 第111572号	永井秀昭			
												No. A - 0

工事概要

工事名称	江の川カヌー公園さくぎ改修工事	
建築主	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市長 福岡 誠志
敷地概要	地名地番	広島県三次市作木町香淀地内
	敷地面積	2184.89㎡
	都市計画区域	都市計画区域外
	用途地域	指定なし
	防火地域	指定なし
	指定建ぺい率	指定なし
	指定容積率	指定なし
	高さ制限	指定なし
	高度地区	指定なし
	日影規制	指定なし
	外壁の後退	指定なし
	風致地区	指定なし
	その他の指定	指定なし
	道 路	前面道路幅員 7.40m・接道長さ 97.10m
建築概要	建物用途	簡易宿泊所（コテージ）
	工事の種別	外壁塗装他改修工事
	構 造	木造
	階 数	平屋建て
	地盤面	G L ± 0mm
	最高高さ	6300m
	軒高さ	3500m
	1 階床高さ	G L +500mm
	建築面積	139.590㎡(1棟) 418.50㎡(3棟)
	床面積	1 階床面積 106.920㎡(1棟) 320.76㎡(3棟)
	延べ面積	106.920㎡(1棟) 320.76㎡(3棟)

工事概要

本工事は、江の川カヌー公園さくぎ(第2コテージ)(6棟)の改修工事です。

簡易宿泊所の改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。

不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

工事工程等

事前に関係者（作木支所・都市建築課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りです。

工事中の移動及び復旧

工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

- ① 工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。
- ② 工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。
- ③ 火災等発生しないよう最善の注意をすること。
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。

- ④ 振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。
- ⑤ 作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。
- ⑥ 着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上の遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

- ⑦ 既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

- ⑧ 図面を製本し提出すること。
・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）
・ A 3 版 部（現場用）
○ A 4 版 2 部（A3 2ツ折り製本）

- ⑨ 不明な点については、係員と協議の上施工すること。
- ⑩ 解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。
- ⑪ 工事着手前に大気汚染防止法第18条の15第1項，3項による調査を行う事。

提出書類一覧 提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。 提出書類はA 4 又はA3二つ折とする事。

工事名	江の川カヌー公園さくぎ改修工事		請負業者	
	項 目	部数	提 出 期 日	備 考
○	1 着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付
○	3 同上誓約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付
○	4 工事カルテ（コリンズ）	3	10日以内	請負契約500万円以上
○	5 詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版
○	7 施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共
○	8 退職金共済制度（建退共）	3	14日以内	
○	9 工事材料搬入・検査報告書(材料確認書)	3	事由発生後14日以内	納入実績量共
○	10 総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付
○	11 提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10 c m用程度
○	12 建設リサイクル法届	3	契約時	
	13 消防設備設置計画書	3	工事着手前	
	14 給水装置工事申込書及び完了届，完了検査	3	工事着手前	
	15 排水設備等計画確認申請書（給水設備共）	3	工事着手前	完了届共
○	16 社会保険等	3	各工事着手前	
○	17 再生資源利用計画書	3	工事着手前	
○	18 大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項，3項
○	19 工事用保険証の写し(火災保険共）	3	着工前	工期の20日延長
○	20 施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前	
○	21 施工計画書	3	各工事着手前	
○	22 材料承認願い等	3	各工事着手前	
○	23 主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可
	24 コンクリート配合表	3	工事着手前	
	25 コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4 週（公共機関試験）
○	26 休祭日作業届	3	工事着手前	
○	27 期間別工事工程報告書(現況写真添付のこと)	3	毎月 2 回	工程が確認できるように撮影
○	28 工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付
○	29 工事打合簿，工事指示書，工程会議資料等	3	随 時	
○	30 質疑回答書	3	必要に応じて	
○	31 産廃契約書及びマニフェスト写し（必要に応じて）	3	受領後速やかに	写真添付
	32 アスファルト調合表、試験表	3	随 時	
33	工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと
34	鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等
35	各種試験成績書(アンカー引抜，溶接探傷等)	3	随 時	
36	機能及び性能試験成績書	3	随 時	
37	出来高請求書	3	随 時	写真添付
○	38 再資源化等報告書（必要に応じて）	3	完了後速やかに	
○	39 材料出荷証明書	3	完了時	
○	40 塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共
	41 電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	
42	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	
43	接地抵抗試験表	3	完了時	
44	水圧試験報告書	3	完了時	
45	ガス気密試験報告書=各種試験報告書	3	完了時	
○	46 電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	47 水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	48 安全実施報告書（KY,バトロール,安全日誌等）	3	完了時	
○	49 下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所，電話他記載
○	50 社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時	
	51 各工事保証書(防水，各機器等)	3	完了時	
52	鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時	
○	53 竣工図（文字入り製本・A 3 版二つ折）CD共	3	完了時	原図を訂正のこと
○	54 工事写真	3	完了時	C Dデータ
○	55 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	C Dデータ
○	56 完成通知届	3	完了14日前迄に	
○	57 引渡書	3	検査通知後14日以内	
○	58 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	



付近見取図

MEMO (縮小率：A2 = 100% ， A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所
広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472
広島県知事登録（ 24(1)第3940号 ） F A X 0847-67-3808

図面名

工事概要・付近見取図

縮尺

製作日

工事名 江の川カヌー公園さくぎ改修工事 設 計 図

1級建築士 永井秀昭
第111572号

No. A - 1

工事概要

1 工事名称江の川カヌー公園さくぎ改修工事

2 建築場所三次市作木町香澄地内

3 主要用途・簡易宿泊所（コテージ）

4 工事種別・改修工事（外壁塗装他）

5 構造階数・平家建て

6 工事種目1, 建築工事一式

2, 上記に伴う工事一式

建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁整備部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標準」という。）

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、○印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、構仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

(6) 図印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

(7) 瑕疵担保調査・建設工事請負契約約款に定める期間内

章

1 一般共通事項

1 ① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部建築課監修 平成22年版）

○建築鉄骨設計基準・同解説（建設大臣官庁官庁官庁整備部監修 平成10年版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部監修）

2 ② 工事実績情報の登録

適用する

(1.1.4)

3 ③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

風速（V0＝30）

地表面粗度区分（・・・○・）

○積雪区分 建m示第1455号 75 cm

4 ④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・要 ○不要

(1.3.3)

5 条件明示項目

(1.3.5)

6 ⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（）

・特別管理産業廃棄物（）

・埋場再利用を図るもの（）

○再生資源化を図るもの（・建設発生土・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材・鉄くず）

○上記以外 1.1.13(b)(5)、及び監督職員との協議による。

(1) 建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。

また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法。」）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」）を遵守し、適正に処理すること。

(2) 元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。

(3) 建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書及び「再生資源利用促進計画書」のとり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に於いて現地による確認、立入検査を行うこと。

(4) 提出書類

元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。

○建設廃棄物処理施工計画書

以下の書類を添付すること。

ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し

イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもの。

ウ 処分場の現地確認写真

エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との2者の業務委託契約書の写し

○再生資源利用計画書

○再生資源利用促進計画書

7 建築材料等

8 化学物質を放散する建築材料等

9 特別な材料の工法

10 技能士

11 化学物質の濃度測定

12 完成図等

13 完成写真

14 設備工事との取合い

15 設計GL

16 工事写真

17 保証書

2 仮設工事

3 土工事

4 地業工事

5 鉄筋工事

作成する・作成しない

完成図（CADデータ等）

提出部数

各2部

部

(1.7.1-3)(表1.7.1)

施工図

提出部数

2部

部

A3版2ツ折張り合せ製本

2部

施工計画書

提出部数

2部

部

保全に関する資料

提出部数

2部

部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原板の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた版

(他に外観正面+カットのみから(カラーキャビネ版)提出)

カラー半切木製パネル

324×400(mm)

外部()内部()

2

○電子データ

外部(18)内部

2

1000万画素以上

300dpi以上

1000×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた版を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者

監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

図示

○設計GL＝現状GL（既設建仕に準ずる）

○「営繕工事電子部品頒価（案）（平成14年11月改訂版）」による。

・屋根工事・金網板書・一階補修業者・一階補修業者の建・保証期間：年・メカ保証共

1 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による

・指示による

○図けない

(2.3.1)

2 工事用水

構内既存の施設

利用できない

○利用できる（有償・無償）

(2.3.1)

3 工事用電力

構内既存の施設

利用できない

○利用できる（有償・無償）

(2.3.1)

1 埋戻し及び盛土

種別・A種

B種

C種

D種

(3.2.3)(表3.2.1)

・建設汚泥から再生した処理土 図

2 建設発生土の処理

・現場説明書による

○構外搬出適切処理

(3.2.5)

・構内指示の場所にたい積

・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

1A 地盤改良

・図示

試験杭

杭径(mm)

杭長(m)及び種別

継手数

セツト数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない

(4.3.7)

先端部形状

開放形

・開そく平たん形

(4.3.2)

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。

(4.3.6)

施工法

・特定定込み杭工法

工法

・プレボーリング拡大掘込工法

・中掘拡大掘込工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で＝25.0程度を採用できる工法

杭周固定液

・使用する

(4.3.3-5)

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度

(4.5.3)(表4.5.1)

()種かつ(21)N/mm²以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による

(4.5.3)

堤削工法

・アースドリル工法（安定液使用・無水堤削）

(4.5.4)

・リバース工法

・オルケーシング工法（孔内の水漲・行う・行わない）

(4.5.5)

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・掘底杭工法（安定液使用・）

・深礎

側壁測定

・行う（）

・行わない

(4.5.4)

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン 図

・切込み砂利及び切込み砕石

・図示

(4.6.3)

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号

呼び名(mm)

・SD295

D16以下

・SD345

D19～D25

・SD390

D29以上

・溶接金網

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱・梁の主筋

ガス圧接

○重ね継手

(5.3.4)

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

(5.3.5)

最小かぶり厚さは目地底から算定する。

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

構仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)

・構造参照

10

・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

構造図を優先とする

コンクリート工事構造設計標準仕様による

構造図を優先とする

鉄骨工事構造設計標準仕様による

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

(5.3.1)(別1.1)

5 最上階柱頭補強

行う

・行わない

(別2.1)

6 帯筋

H形

・図示（構造図）

(別2.2)

7 床間口部の補強

A形

・B形

・図示（構造図）

(別4.2)(別表4.3-4)

8 梁貫通孔の補強形式（基礎共）

H形

・MH形

・M形

・評定品

・図示（構造図）

(別7.1)(別表7.1-3)

9 機械用上げ用フック

・A種

・B種

・C種（ヶ所）

(別7.3)

10 圧接完了後の試験

超音波探傷試験

・引張試験

(5.4.9)

11 その他

・構造仕様書を優先とする

6 1 普通コンクリートの設計基準強度

(6.1.4)

設計基準強度Fc(N/mm²)

施工箇所

・21+温度補正

建物基礎、立上り、基礎、受水槽基礎

・18

施、フナツ 土間

・24

上部躯体

構造図を参照

○発注強度は上記設計基準強度+S（構造体強度補正值）とする。 S=2

2 レディーミクストコンクリートの類別

類

・類

(6.1.5)(6.4.1-2)(表6.1.1)

3 スランブ

工作物のスランブ 15又は18cm（建物躯体はS-01図参照）

(6.2.3)

4 セメントの種類

(6.3.2)(6.13.2)(6.16.2)(表6.3.1)

普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（但し、シリカセメントを除く）

・高炉セメントB種 図（）

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱

7d

352J/g以下

28d

402J/g以下

5 骨材の種類

アルカリシリカ反応による区分

(6.3.3)(6.5.4)

A

・B（コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3.0kg/m³以下）

6 混和材料

混和剤

・混和材

(6.3.5)(6.4.8)

7 無筋コンクリート

設計基準強度

18N/mm²

(6.14.3)

8 コンクリート躯体表面の処理

外装タイル後張り面の躯体表面の処理

MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用発泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧5.0N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

・コンクリートの磨打り厚さ

20mm

施工範囲は図示による。

適用及び適用箇所について

構仕19章内装工事14断熱材による。

塗装の有無

○無し

・有り

普通コンクリートの水セメント比は65%以下とする。

9 断熱材兼用型枠

10 型枠

11 水セメント比

7 1 鉄骨の製作工場

(7.1.3)

製作工場の加工能力

○監督職員の承諾する製作工場

・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(II)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

入熱、バス間温度の溶接条件

適用箇所

・図示

・柱・梁・ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

図示

(7.1.4)

適用する

(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)

鋼材の材質

種類の記号

使用箇所

規格等

SS400

JIS規格による

SS400

JIS規格による

STKR400

JIS規格による

SNR400B

JIS規格による

構造図を参照

改良型スカラップ

鋼製エンドタブ

切断する箇所（・図示による）

()

トルシ形高力ボルト

・JIS形高力ボルト

・溶接亜鉛めっき高力ボルト

(7.2.2)(7.12.4)

7 溶接部の試験

AOQL

4.0%

・2.5%

(7.6.11)

検査水準

第6水準

・図示

(7.6.11)(表7.6.2)

試験の種類

試験箇所

超音波探傷試験

完全溶込み溶接部

構仕7.6.11(b)による

・放射線試験

・マクロ試験

・別図参照

1 交通誘導員（安全誘導員）

・車両搬入時に配置する

大気汚染防止法調査（アスベスト）

○行方

MEMO

(縮小率：A2＝100％、A3＝70％)

有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録（24(1)第3940号）

F A X 0847-67-3808

図面名

建築工事特記仕様書（1）

縮尺

製作日

工事名

江の川カヌー公園さくぎ改修工事

設計図

1級建築士

第111572号

永井秀昭

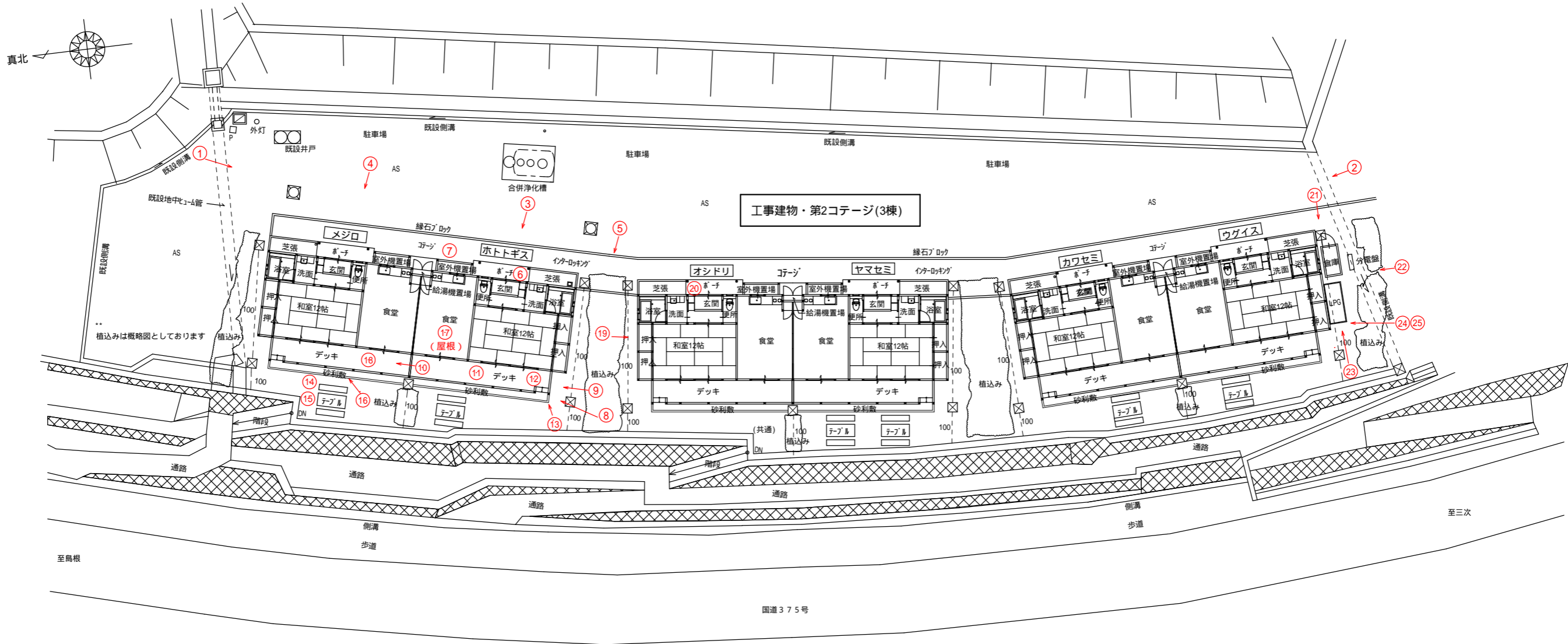
No.

A

-

2

[illegible]



配置図 S=1/200



(縮小率 : A2 = 100% , A3 = 70%)

MEMO

(縮小率 : A2 = 100% , A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

TEL 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名

配置図

工事名

江の川カヌー公園さくぎ改修工事

設計図

縮尺

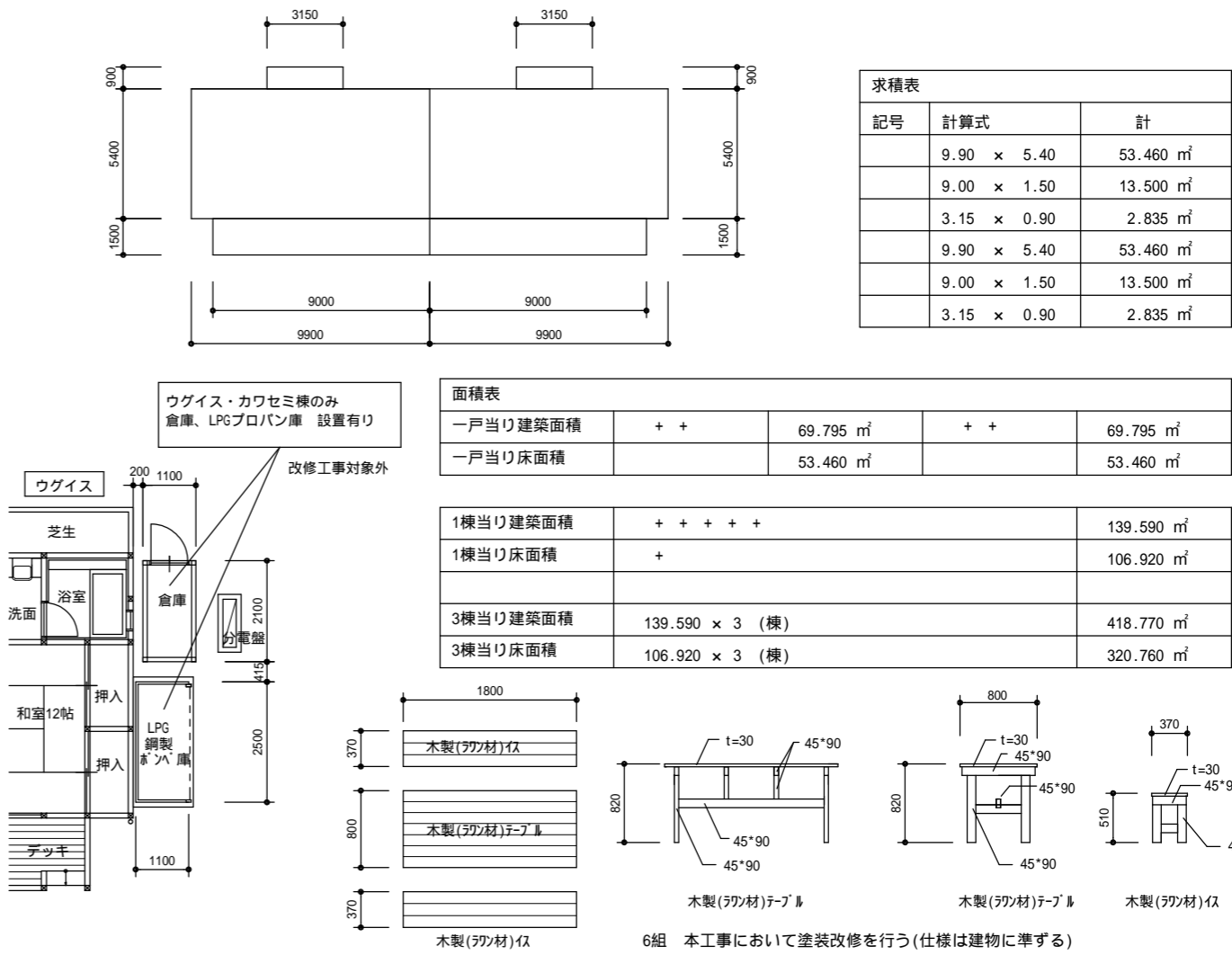
S = 1 / 200

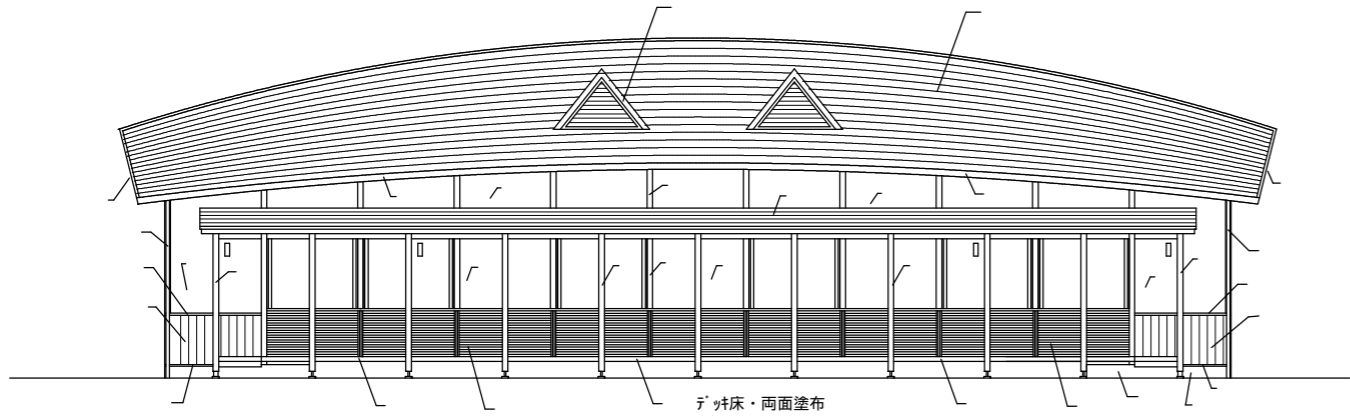
製作日

1級建築士
第111572号

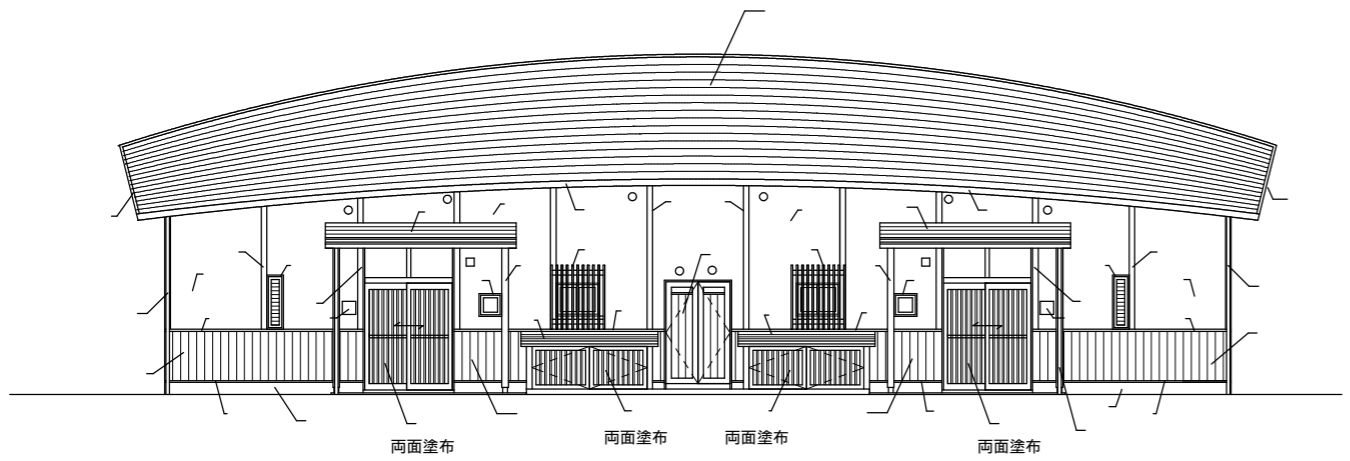
永井秀昭

No. A - 5

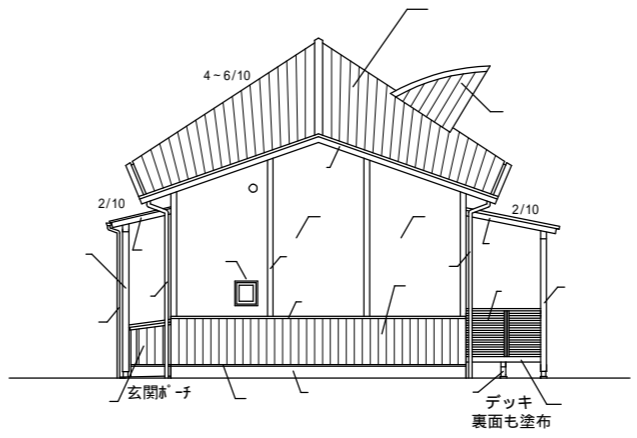




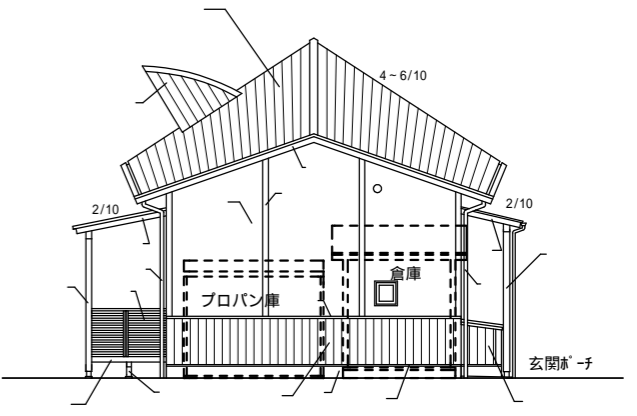
西面立面図 S=1/100
(3棟共通)



東面立面図 S=1/100
(3棟共通)

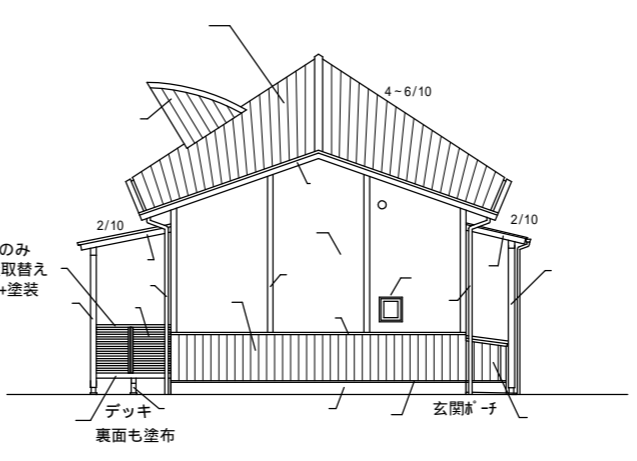


北面立面図 S=1/100
(3棟共通)

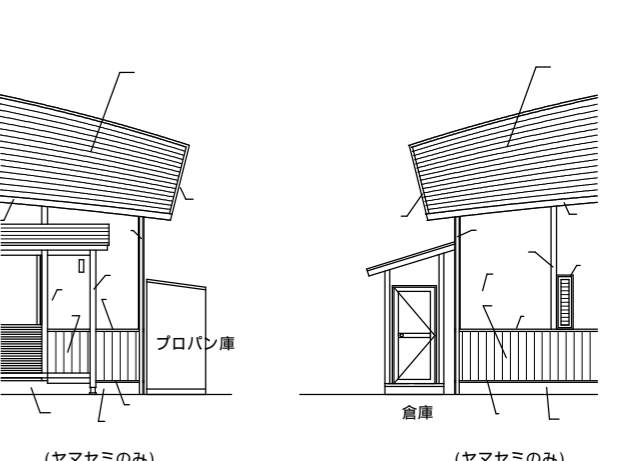


(ヤマセミのみ)
南面立面図 S=1/100

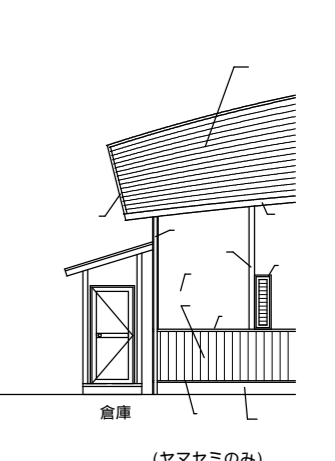
増築建物の為、施工出来る範囲の改修を行う



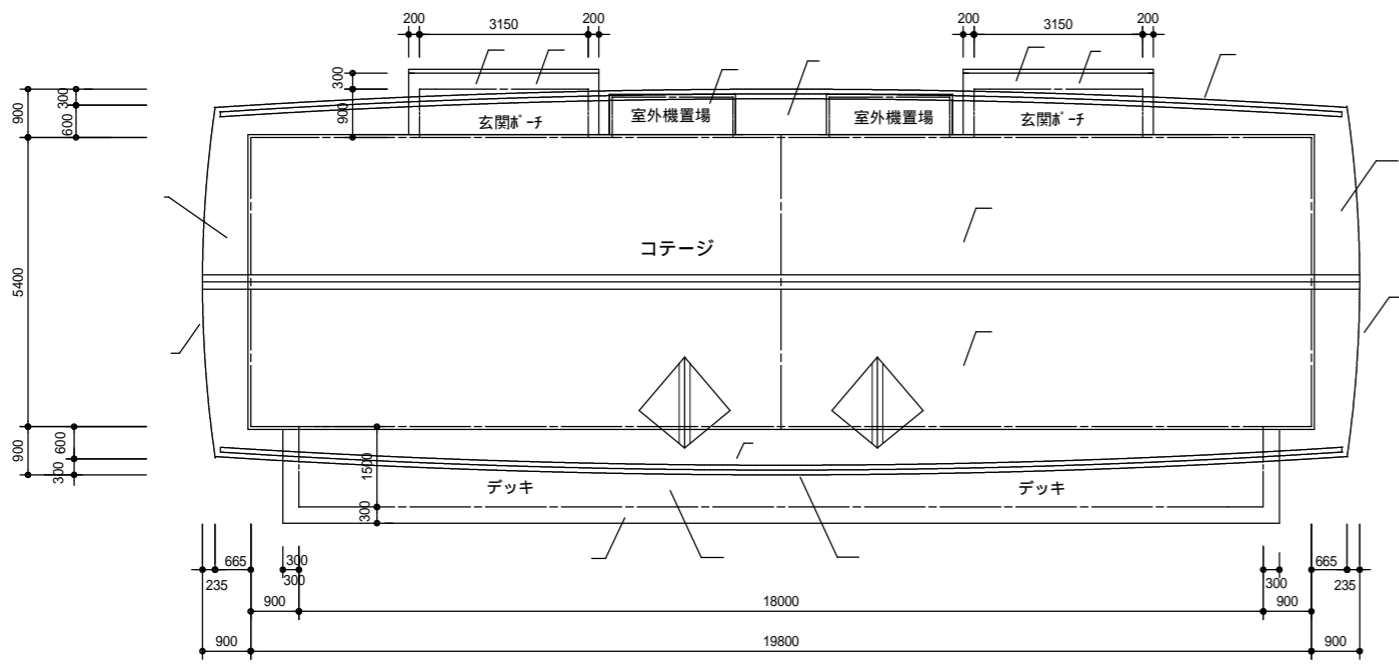
南面立面図 S=1/100
(3棟共通)



(ヤマセミのみ)
西面立面図 S=1/100

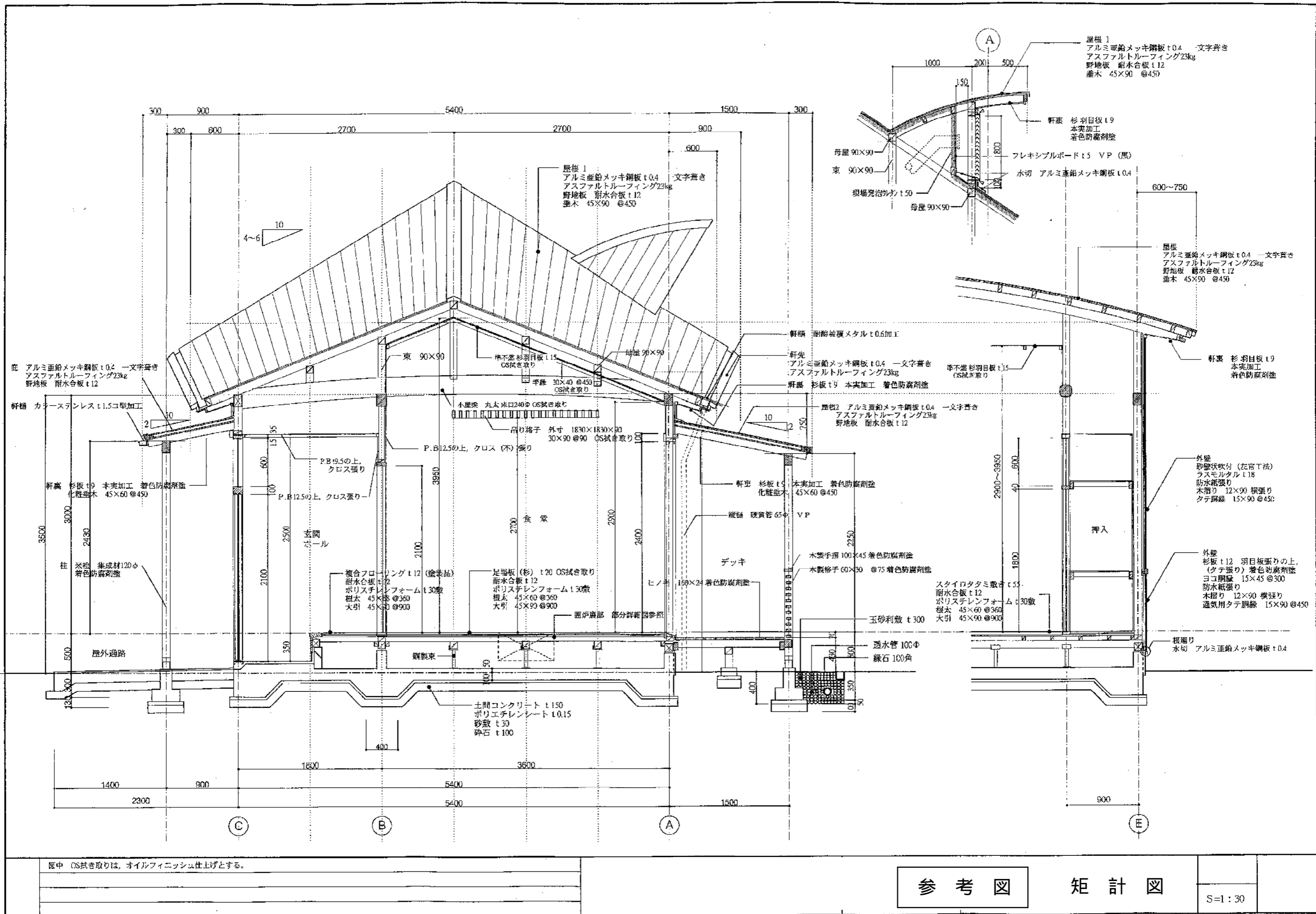


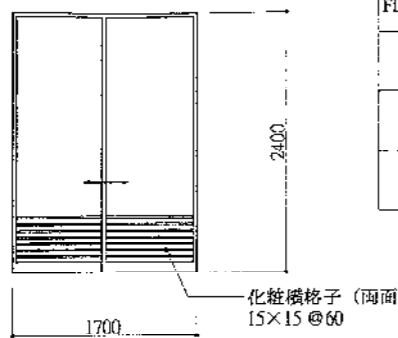
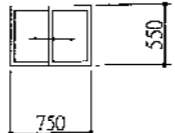
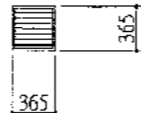
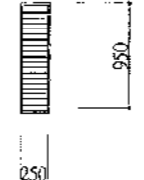
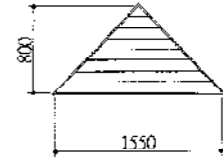
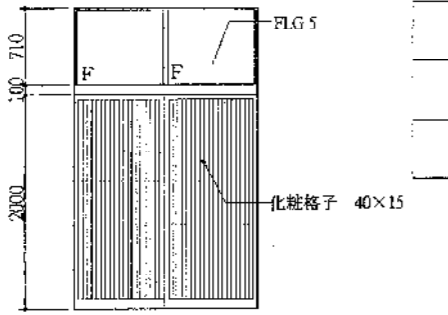
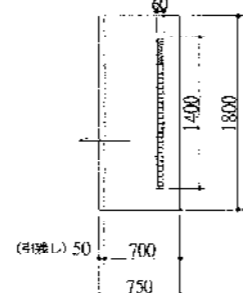
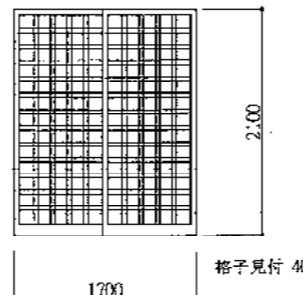
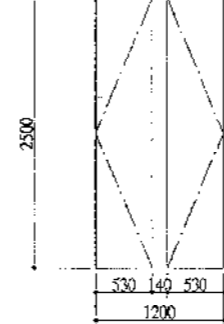
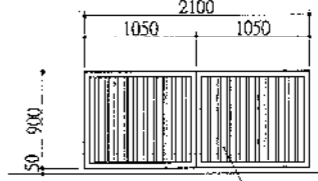
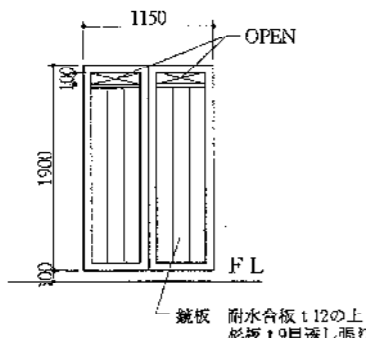
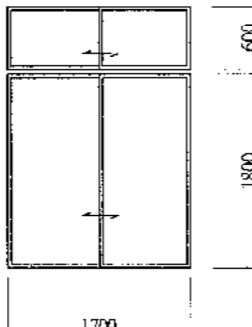
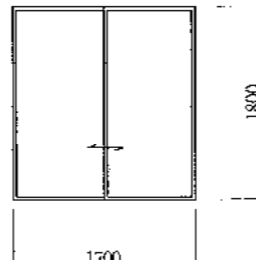
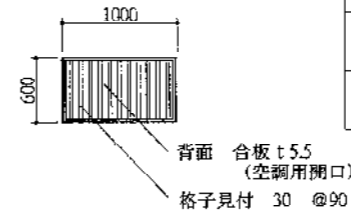
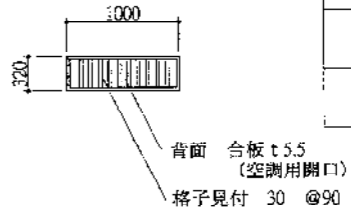
(ヤマセミのみ)
東面立面図 S=1/100

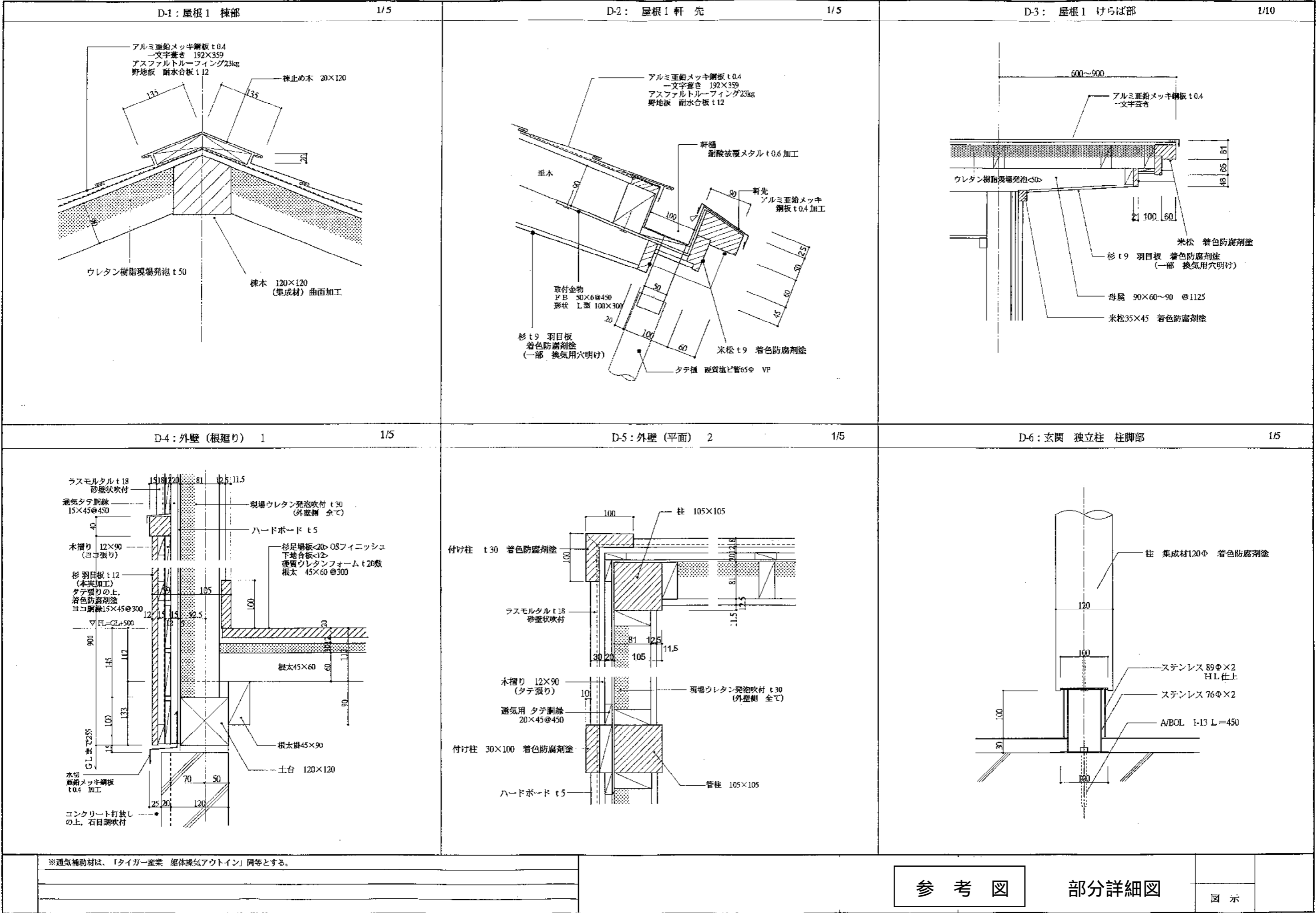


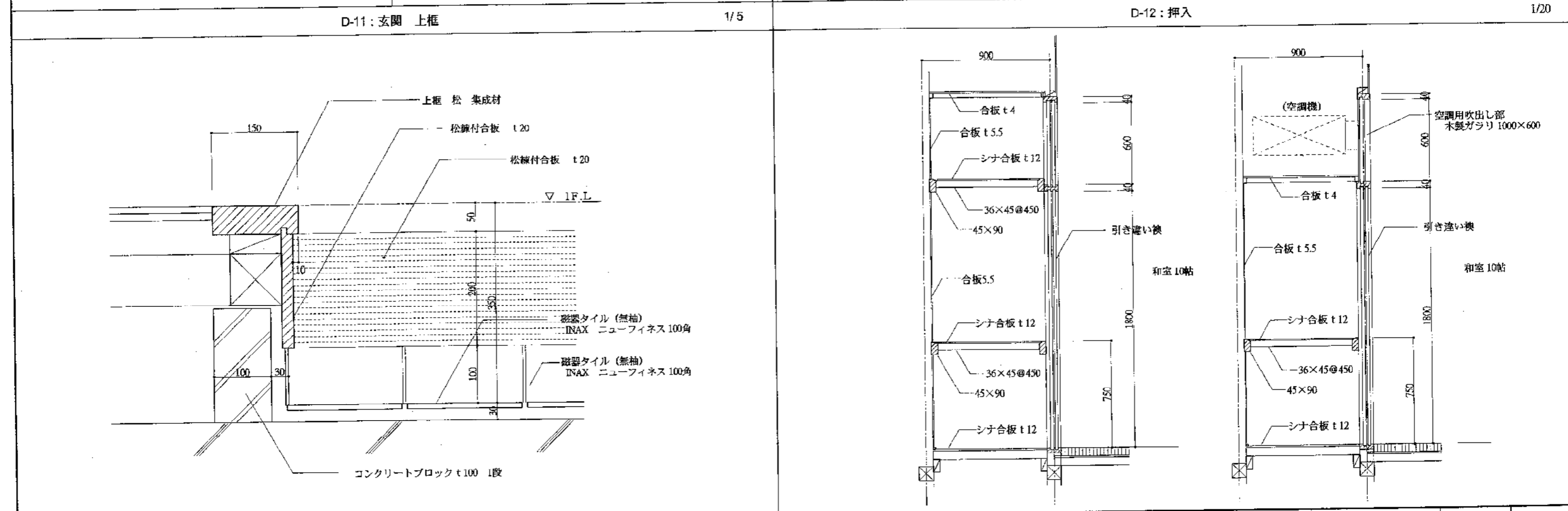
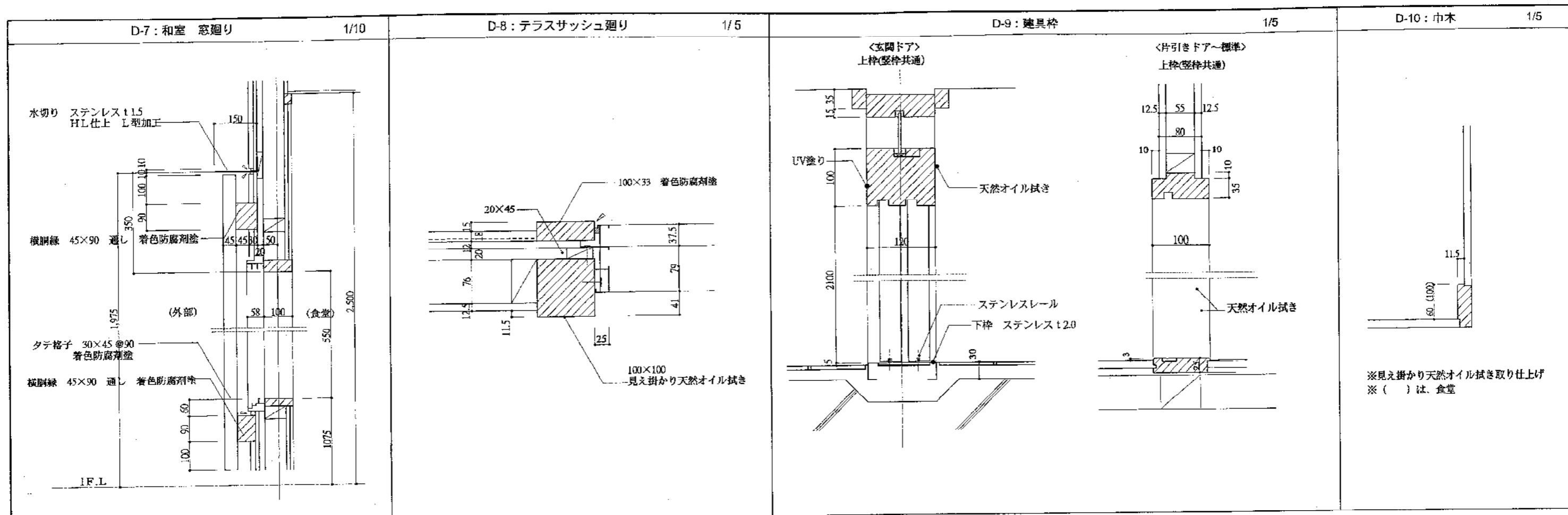
屋根伏図 S=1/100
(3棟共通)

外部仕上げ(改修工事)	
	木部・下地調整の上、木材保護塗料塗り
	木製玄関扉WD-1・下地調整の上、オイルフィニッシュ+ガラヤッカ塗り
	屋根・アルミ亜鉛メッキ鋼板 一文字葺き 既設のまま
	外壁・スチール金釘押えの上、砂壁状吹付 既設のまま
	根廻・コンクリート打ち放しの上、石目調吹付 既設のまま
	その他(アルミサッシ・照明器具・室名札・換気口・アルミ水切り・縦樋) 既設のまま
特記事項	建物外部廻り全面を高空気圧にて清掃を行う(大屋根、玄関・デッキ屋根面を除く)



記号名称		AW-1	アルミ製引き違い戸	AW-2	アルミ製引き違い窓	AW-3	アルミ製可動ガラリ窓	AW-4	アルミ製可動ガラリ窓	AW-5	アルミ製可動ガラリ窓	形状記号	
姿 図	ガラス											枠形状 A B	窓形状 A B C D
	枠形状												
	窓形状												
	ガラリ形状												
位置・数量		和 室・食 堂 6		食 堂 2		便所・UB 4		洗面 2		屋根 (外部) 2		略号	
仕上見込		カラー 116.5 (住宅和風用 内付きテラス戸タイプ)		カラー 70 (住宅用 外付きタイプ)		カラー 70 (住宅用 外付きタイプ)		カラー 70 (住宅用 外付きタイプ)		カラー 70		法合措置	
金 物		クレセント他付属金物一式		クレセント他付属金物一式		開閉ハンドル他付属金物一式		開閉ハンドル他付属金物一式		付属金物一式		甲 甲種防火戸 乙 乙種防火戸	
備 考		網戸		網戸		網戸 アルミ額縁 (UBのみ)		網戸					
記号名称		WD-1	木製引き違い戸	WD-2	木製片引き戸	WD-3	木製引き違い戸	WD-4	木製両開き戸	WD-5	木製両開き戸	両子 FLG 透明硝子 FG 型板硝子 PWG 網入磨き硝子 FWG 網入型硝子 NLG 熱線吸収硝子 ALG 合わせ硝子 (和紙入り)	金物 DC ドアチェック AS アームストッパー H 丁番 FH フロアヒンジ PH ピボットヒンジ N 握り玉 N(S) 同上 シリンダー本締付 L レバーハンドル T 把手 ML モノロック錠 CL シリンダー本締錠 DP 戸当り
姿 図	ガラス												
	枠形状												
	窓形状												
	ガラリ形状												
位置・数量		玄 関 2		便所・洗面 4		食堂 2		食堂 1		室外機置場 (外部) 2			
仕上見込		(扉) 40 米松 OS拭き取り ウレタンクリアー		(扉) 36 ポリ合板		40 スプルース OS拭き取り CL		40 ビニルクロス張り		40 着色防汚剤塗			
金 物		ステンレスブラットレール 戸車 ステンレス下枠 彫込引手 引違い用シリンダー錠		戸車 彫込引手 ブラットレール 戸当りゴム 表示錠 (非常時開放装置付)		戸車 彫込引手		丁番 彫込取手 プランス落し		丁番 彫込取手 丸落し 開口率 65%			
備 考		化粧タテ格子 (両面)											
記号名称		WD-6	木製両開き戸	F-1	木製引き違いふすま戸	F-2	引き違いきふすま	WG-1	木製ガラリ戸 (けんどん式)	WG-2	木製ガラリ戸 (けんどん式)	特 記 建具寸法は、内法有口寸法とする	
姿 図	ガラス												
	枠形状												
	窓形状												
	ガラリ形状												
位置・数量		給湯器置場 (外部) 1		和室 押入 2		和室 押入 2		和室12帖 (空調用吹出し部) 2		食堂 (空調用吹出し部) 2			
仕上見込		40 着色防汚剤塗		21 新島の子紙 裏面 雲霞紙		21 新島の子紙 裏面 雲霞紙		40 着色防汚剤塗		40 着色防汚剤塗			
金 物		丁番 レバーハンドル シリンダー錠		彫り込み引手 (白木) 緑 スプルース素地		彫り込み引手 (白木) 緑 スプルース素地							
備 考													
												参 考 図 建 具 表	
												s=1:50	





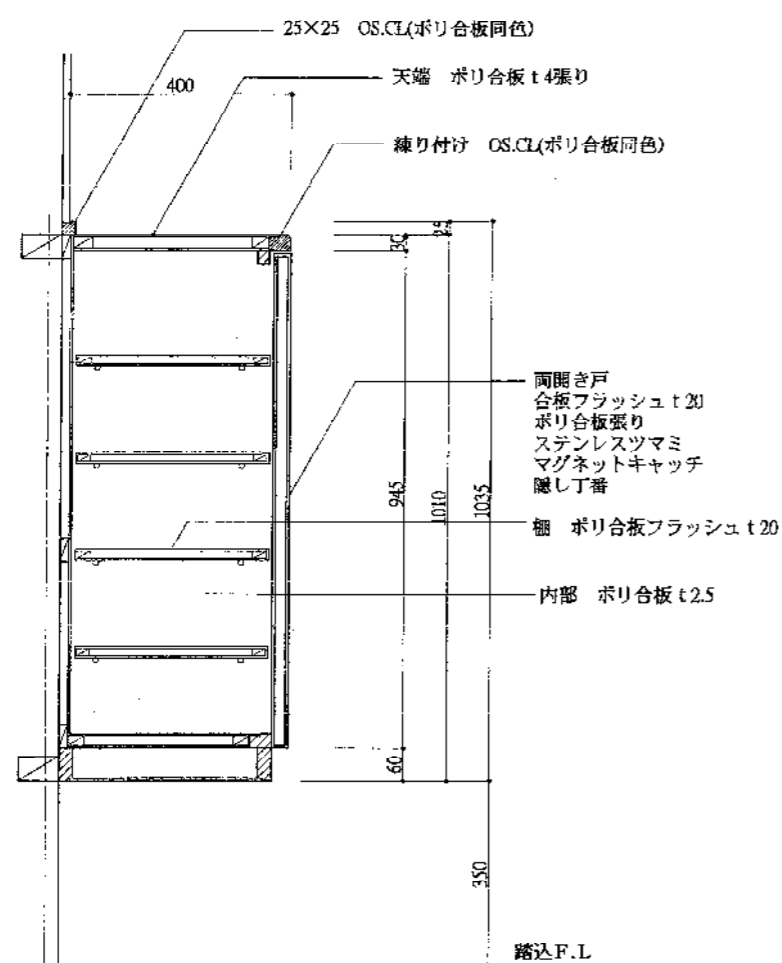
参 考 図

部分詳細図2

図 示

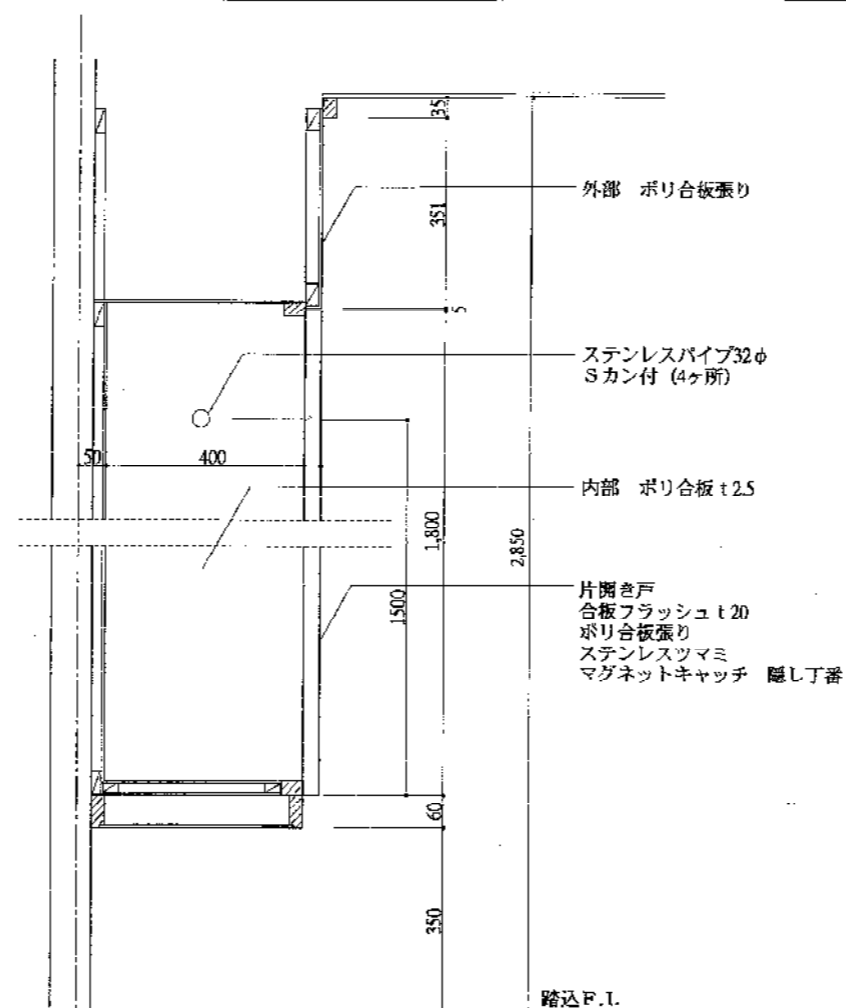
D-13 下足棚

1/10



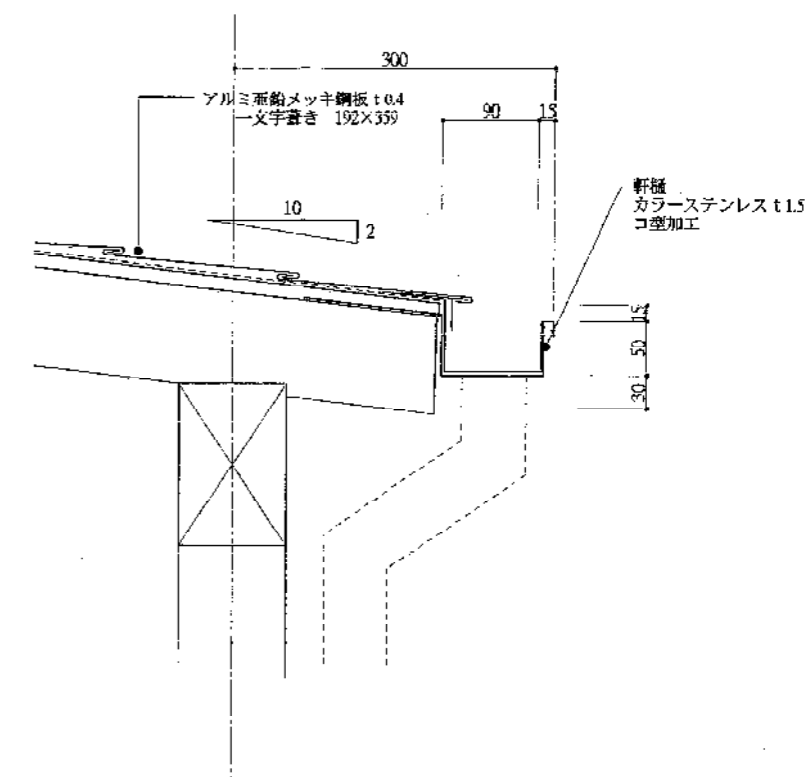
D-14 物入

1/10



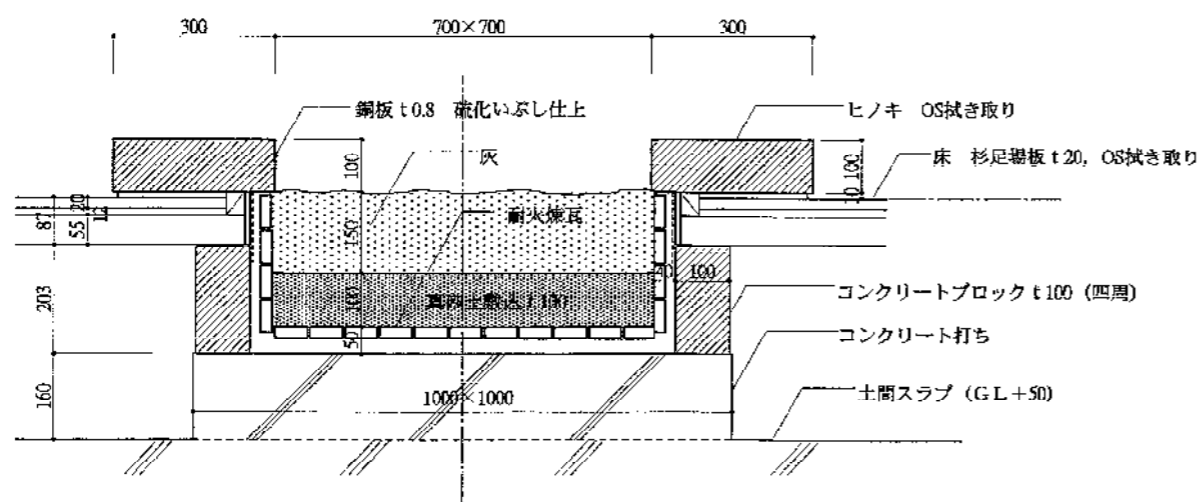
D-14 鹿 軒先

1/5



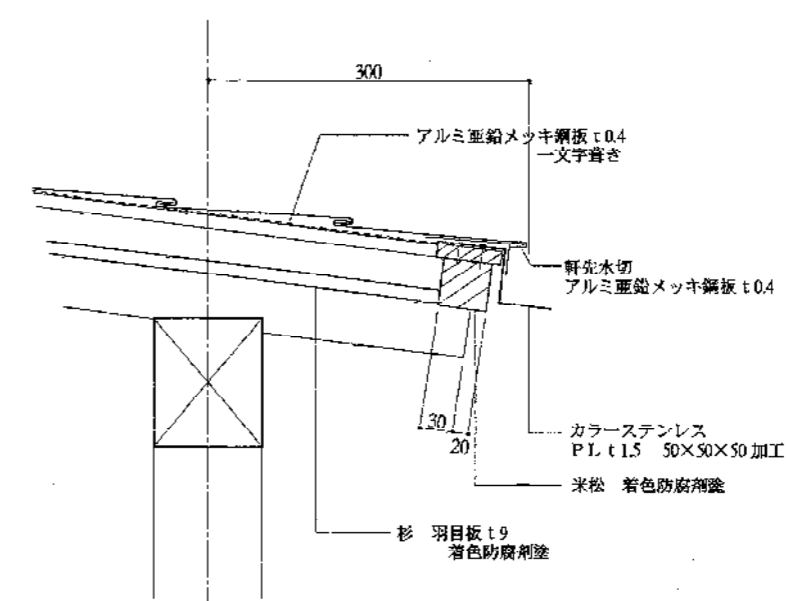
D-15 囲炉裏

1/10



D-16 屋根2 軒先

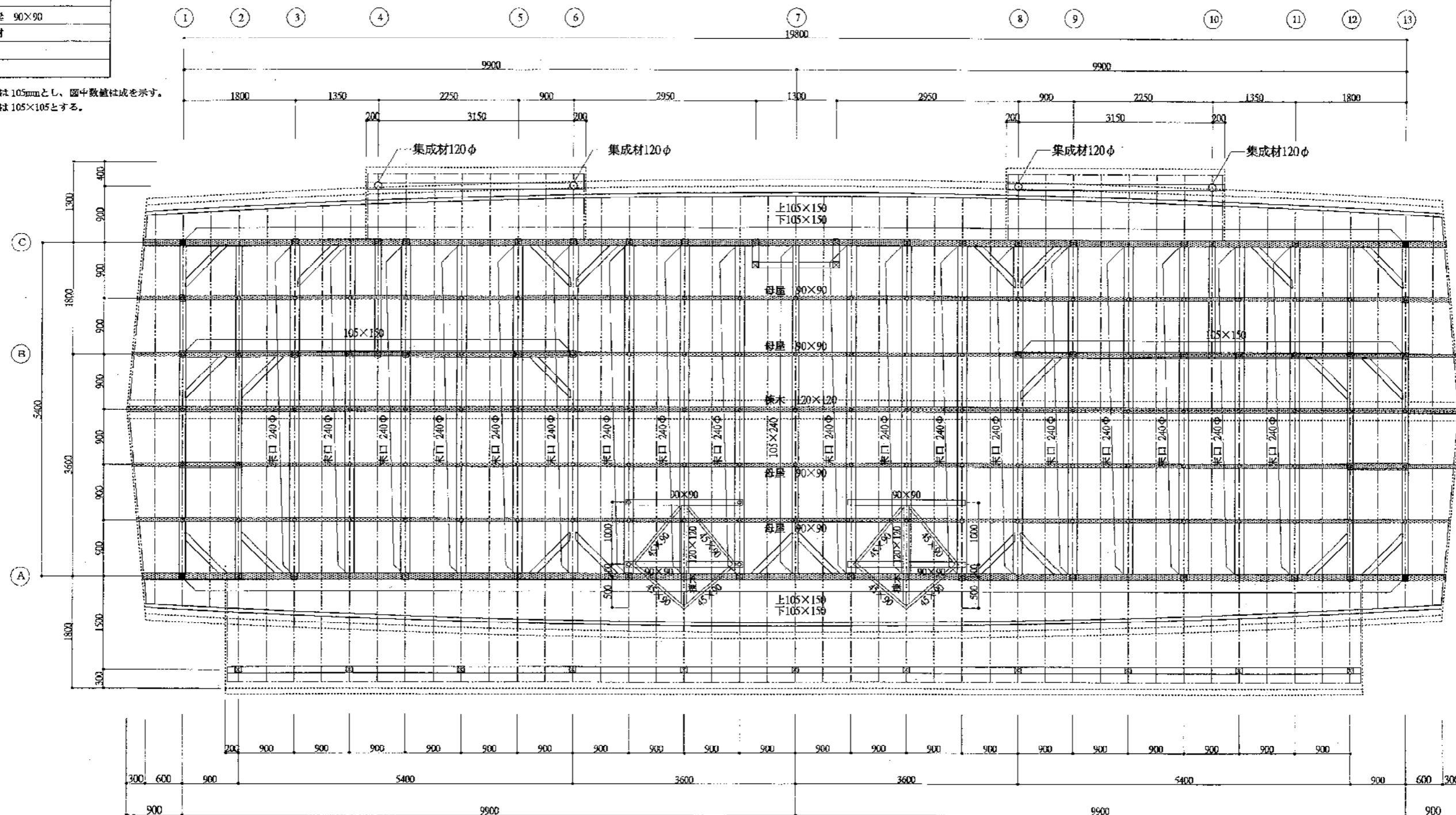
1/5



■凡例

——	垂木 45×90 @450
——	母屋 90×90
——	軒桁 特記以外105×120
○	小舎束 90×90 @900
□	2階柱 105×105
——	火打梁 90×90
——	集成材

※特記なき部材幅は105mmとし、図中数量は成を示す。
※特記なき梁、桁は105×105とする。



野地板は、芋目地張り（板相互の隙間=2mm）とし、垂木等にNS0 @150（手打ち）とする。

参 考 図

小屋伏図

S=1:50